

## 5 幼稚部

【3, 4, 5歳児】

### (1) 幼稚部の教育目標

幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う大切な時期であることを踏まえて、幼児一人一人の特性に応じ、次の目標の達成に努める。

- ① コミュニケーションする意欲や態度を育て、日常生活に必要な言葉を身につけさせる。
- ② 元気なからだ、感動する心、考える力を育てる。
- ③ お互いに関わり、認め合う力を育てる。
- ④ 身のまわりのことを自分でしようとする態度を育てる。

### 目指す幼児像

- |                    |  |
|--------------------|--|
| ○ 心身ともに健康で、明るい子    | ・ 進んで挨拶をする子<br>・ のびのびと体を動かす子                           |
| ○ よく見て、よく聞いて、よく話す子 | ・ 身振りや言葉で進んで話す子<br>・ 補聴器等を活用し話をよく聞く子<br>・ 口元をよく見て談話する子 |
| ○ みんなと仲良く遊ぶ子       | ・ みんなと仲良く協力して遊ぶ子<br>・ みんなと仲良く工夫して遊ぶ子                   |

### (2) 教育課程の編成方針

- ① 幼児の障害の状態及び発達の段階や特性、生活体験等を考慮して編成する。
- ② 親子共学のもと、家庭、地域及び関係機関との連携を図り編成する。
- ③ 幼稚部における教育において育みたい資質・能力を踏まえつつ、心身の調和的発達の基礎が培われるように、健康、人間関係、環境、言葉、表現及び自立活動の6領域について相互に関係を持たせ、具体的な活動を通して総合的に指導が行われるよう編成する。
- ④ 幼稚部における教育と小学部における教育又は小学校教育との円滑な接続が図れるよう編成する。

### (3) 各領域の指導の重点

\* 学びに向かう力、人間性（以下【学】とする。）知識及び技能（以下【知】とする。）

思考力、判断力、表現力（以下【思】とする。）の資質・能力の3つの柱と表記する。

- ① 健康 ○基本的な生活習慣を身につける。【知】  
○様々な活動や遊びに興味を持ち、思い切り体を動かす楽しさを味わう。【学】  
○健康・安全な生活に必要な習慣や態度を身につけ、見通しをもって行動する。【思】
- ② 人間関係 ○幼稚部での生活を楽しみ、自分の力で行動する充実感を味わう。【学】  
○すすんで身近な人と関わりをもち、工夫したり、協力したりして一緒に行動する楽しさを味わい、愛情や信頼感を持つ。【思】  
○社会生活における望ましい習慣や態度を身につける。【知】
- ③ 環境 ○身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。【学】  
○身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。【思】  
○日常生活の中で、事象や数量、文字などに関心を持つ。【知】

- ④ 言葉 ○自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。【学】  
○人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。【思】  
○絵本や物語などに親しみ、想像力を豊かにする。【知】  
○したこと、見たこと、聞いたこと、感じたことなどを自分なりに言葉で表現する。【思】
- ⑤ 表現 ○感じたこと、考えたこと、経験したことなどを伝え合う楽しさを味わう。  
【思】  
○歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりして、音楽に親しむ。【学】  
○伸び伸びと絵をかいたり、物を作ったりすることができる。【知】
- ⑥ 自立活動 ○個々の幼児が自立を目ざし、障害に基づく種々の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養う。  
・補聴器等の装用を習慣づけ、聴覚を活用することができる。  
・保有する感覚を活用し、認知や行動の手がかりとしての概念の形成を図る。  
・言葉に興味をもたせ、聴くこと、話すこと、読むこと、書くことへの意欲を高め、日常生活の中でも活用できる。  
・コミュニケーションの基礎的能力を習得するための素地を養う。

#### (4) 交流及び共同学習の重点

- ① 交流先の幼児と活動を共にすることで、様々な触れ合いや出会いの体験を豊かにする。
- ② 交流先でのいろいろな経験を通して、幼児個々の社会性及び自立心の芽生えを育む。
- ③ 日頃の保育の中で培った幼児自身の伝え合う力（コミュニケーション力）が、交流先の同年齢集団の中でも発揮できる。
- ④ 交流先の幼児との交流を通して、お互いを知り、地域での関わりを広げる。

#### (5) キャリア教育の重点

- ① 身近な人や友だちに親しみをもって、あいさつをかわすことができる。
- ② いろいろな活動を通して経験を広げ、好奇心や探究心をもって主体的に関わろうとする意欲を持つ。
- ③ 自分には補聴器等が必要なことがわかり、大切に扱うことができる。

#### (6) 生涯学習への意欲を高める指導の重点

- ① すずんで身近な人と関わり、一緒に考えたり、工夫したり、協力しながら遊ぶ楽しさを味わう。
- ② いろいろな遊びを楽しみながら、物事をやり遂げる達成感を味わい、自信をもって行動する

#### (7) 安全に関する指導の重点

- ① 危険な場所を知り、一緒に安全な行動ができる。
- ② 施設や遊具、用具等の正しい使い方を知り、安全に使える。
- ③ 交通の決まりを知り、安全に気をつけて行動ができる。
- ④ 火事や地震の災害時や不審者侵入時に教師と一緒に適切な行動ができる。